

桂坂山の手倶楽部だより

(第18号)

平成21年11月1日発行

桂坂山の手倶楽部だより編集委員会



役員会だより

1. 第1回合同会議開催(8/30)

会議に先立って会長より、当倶楽部は西京区内でも積極的な活動がなされている老人会と評価されているが、これは16の同好会の活発な活動によるもので、本日ご出席の責任者の方々にもお礼を申し上げます。また、9月の「西京区老連主催の文化芸能祭」への参加や10月の当倶楽部の「趣味の作品展」の開催など、皆様のご協力をお願いします。との挨拶がありました。

引き続き、大枝交番所より、「振り込め詐欺」や「架空請求詐欺」が頻発しており、西京区でも1件発生した。他人こととは思わずに、まずは交番所に連絡下さい。とのお話がありました。会議は

1. 全体活動、同好会活動、区老連活動の報告がありました。
2. 会員勧誘策として、自治連広報誌「山の手だより」の掲載など報告がありました。
3. 第16回「趣味の作品展」の実施計画が発表されました。
4. 「ほっとラインの会」、当倶楽部よりホットラインメンバ-10名が登録し10件の依頼を受けました。松尾学区の「助っ人の会」との情報交換会のなかで、これらの会の必要性を確認しました。
5. 市の補助金が単位倶楽部30名以上に改定になり、当倶楽部も4倶楽部から6倶楽部に編成替えするべく討議しました。皆さんの意見を聞き、次回総会に提案の予定です。
6. 桂坂小学校より「放課後まなび教室」に協力の依頼を受け、協力すべくスタッフ募集のお願いをしました。

市・区老連だより

1. 亀岡市民総体交流G・G(グラウンド・ゴルフ)大会に参加 体育委員 岡村 英明

台風一過、快晴10月10日(土)亀岡市苜月読橋球技場で行われた第10回亀岡市民総合体育大会の「京都市西京区との都市間交流G.G大会」に「桂坂山の手チ-ム・青山さん以下6名」が出場しました。

この大会は、西京区G.Gチ-ムの交流参加が始まって7年目で、桂坂学区は西京区11番目のチ-ムとして今回初出場を果たしました。この大会は48チ-ム288名の参加で、レベルの高い本格的な大会です。

優勝は亀岡市・千代川Aチ-ム(332点) 西京区から参加の稲荷山NSCチ-ム(桂東学区・351点)が3位に入賞、桂坂山の手チ-ムは7位(363点・西京区では稲荷山チ-ムに次ぐ2位)に止まりましたが、来年は精神的にも技術的にも出場選手のレベルアップを図ってこの大会に参加したいと思います。

なお、今後区老連主催の行事は「親睦G.G大会」が11月12日(木)(雨天の場合は翌日)嵐山東グラウンドで、「第4回ボウリング大会」が12月7日(月)エミナ-スポウルで各々開催される予定です。

2. 義援金募集のお礼 奉仕委員 高木 紀子

本年度は義援金のみでの募集でしたが、多大なご協力をいただきありがとうございました。お陰様で18,000円となりました。これは区老連でとりまとめられ、区内16ヶ所の施設に(金額は未定)後日、訪問贈呈をいたします。今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

3. 区老連主催の「カラオケの集い」開催 福利厚生委員 松本 初次

来る11月14日(土)午後1時より、ふれあい会館で区老連主催の「カラオケの集い」が開催され、当倶楽部からカラオケ同好会の細谷修三さん、井上清之助さん、大森一枝さんに出演をお願いしています。是非当日皆様のご来場をお待ちしています。

4. 文化芸能祭・作品展、市民すこやかフェア作品展を終えて

西京区老連主催の第19回文化芸能祭が9月19日(土)作品展が9月19日(土)、20日(日)にウエスティで同時に開催されました。来場者は両日で約900名の多数の方々に見賞観劇して頂きました。



芸能祭では桂坂より、津軽三味線、トウエンティスタ-ズのハ-モニカ演奏、のど自慢では西村明さんの「愛のブル-ス」と鹿取珠江さんの「海峡棧橋」を美声で披露されました。昨年同様トリにコ-ラス同好会の37名の皆様が「故郷、トランプ-タン、山小舎の灯」を合唱されました。ハ-モニカやコ-ラスでは場内から演奏や合唱に合わせて、あちらこちらから口ずさ

みが聞こえ最後には合唱に変わっていました。

作品展では山の手倶楽部から力作ばかり絵画12点、書道24点、俳句8点、写真6点の計50点が出展されました。

市民すこやかフェアが市老連主催で9月26日(土)・27日(日)の両日京都市勧業館みやこメッセで作品展が開催されました。西京区老連より59点が出展され、そのうち山の手倶楽部からは絵画5点、書道4点、俳句8点、写真4点など計21点が出展されました。ウエスティ、みやこメッセ共々観賞観劇された方々から、山の手倶楽部は素晴らしいと高い評価を受けていました。

出演出展された皆様、観賞観劇して下さいました皆様どうもありがとうございました。

文化委員 中口 利秋



5. 西京区老連よりのお知らせ

西京区老人クラブ連合会と(株)公益社は特定契約を結んでおりますので、基本葬儀料の割引があります。お問合せは、区老連理事田中(332-1565)又は各単倶楽部会長までお寄せ下さい。

理事 田中 健一

「趣味の作品展」開催

作品展担当 中口 利秋

10月22日(木)~23日(金) 9時30分~16時まで京都中央信用金庫桂坂支店2階ホ-ルにて、今年も趣味の作品展が開催されました。



書道、絵画、俳句、写真の各同好会の皆様は、この作品展に備えて日頃から研鑽の成果を観て頂こうと、それぞれ自慢の作品をまた、一般会員の皆様からも個性豊かな作品を出展して頂き、総数121点と例年になく出展数となり盛大な作品展となりました。

2日間の来場者は200名を超え、お陰様で好評裏に終える事が出来ました。

開催に際しまして、多くの会員の皆様にご協力を頂き、この場を借りてお礼を申し上げます。



その他のお知らせ

1. 小学校「朝の声掛け活動」に参加して 第3倶楽部 (ひいらぎ) 松本 正二

桂坂小学校、二学期の初日8月20日から26日までの朝7時50分より8時30分まで、登校される学童さん



に朝の挨拶を交わす運動に参加しました。周辺より登校される1年生から6年生の皆さんが、通学門までの30数段の階段を、大きなランドセルを背負って夏休みの宿題を両手に掲げて元気よく私達の前を通過される時、いろいろな表情をされた学童さんに「おはようございます」と会員一同で声を掛けると、笑顔で受け止めて、私達に「おはようございます」と挨拶が返ってくる。

掛け声運動も3、4日目になると、学童さんから先に「おはようございます」と挨拶を交わされ、この瞬間、私を含めて山の手倶楽部のこの運動に参加した皆さんの胸に熱いものが走った事とと思いました。

この五日間に感じた事は、逆に我々会員一同が「若さと元気」を学童さんより頂戴したと痛感し、充実感の満ちた五日間であった事を感謝しながら、足取り軽く青空を見上げながら帰途につきました。

2. 「ふれあいトク」の開催

研修委員 伊藤 光男

9月10日(木)桂坂地域女性会との共催で、テマ「相続にまつわる話」の研修会が、ふれあい会館で開催されました。

今までにないテマであったためか、それとも皆さんが気に掛かる事柄のためなのか、当倶楽部31名と女性会16名の合計47名の参加がありました。

講師には、かえで自治会の木村昌年行政書士にお願いしました。パソコンと繋いだ映像などで解りやすくユモアも交えてお話をいただきました。最後には、皆さんからの具体的な質問にも答えてもらいました。

法律や見慣れない用語が出てきましたが、皆さんの参考になり有意義な研修会であったと思います。

終了後、この地元に心強い相談できる先生が居られるとの思いから、多くの方が先生の名刺を受取って帰られた事が、今回の「ふれあいトク」の好さを表わしていました。



3. 桂坂小学校「放課後まなび教室」

会長 乗本 政三

京都市は市内のほとんどの小学校で「放課後まなび教室」を開講しています。

この事業は学校教育活動とは別の事業として学校施設を活用して、保護者、地域の方々の参加を得て放課後子どもたちに学習の習慣づけを図り、自習的に学ぶ場、安心安全な居場所を充実するため開設されました。

桂坂小学校も開設に当たって校長よりスタッフの確保について、山の手倶楽部に協力要請がありました。当倶楽部も事業の一環として、子どもたちの安心と安全を守る運動を展開しているので、これを受けて合同会議で説明し、会員全員に協力を要請いたしました。

この事業をご理解していただき、快く引き受けて下さったスタッフ(アドバイザー・サポーター)の方々は次のとおりです。

かえで：田中健一・中口利秋・松井捨和 さつき：長谷川文彦 しらかば：乗本政三 ひいらぎ：高橋 守・八木兵司・内田圭子 つばき：岡村英明・辻タカ枝 くすのき：樋口アヤ子 にれのき：平岡和子 さくら：松本初次 の皆さんです。

4. 「単位倶楽部の再編成について」

事務局長 八木 兵司

現在、桂坂山の手倶楽部の会員数は約250名で4単位倶楽部から編成されています。単位倶楽部は役員選出時や各種資料等の配布時以外はあまり関係なく、倶楽部活動は全て全体で行っています。

唯、対外的には各単位倶楽部を別々に京都市に届けていて、市からの補助金の申請手続きは各単位倶楽部毎に行っており、補助金の交付も単位倶楽部毎に行われています。先日、今年度の補助金46,560円も各単位

倶楽部毎に交付されました。

この補助金交付制度は国で定められているもので、従来単位倶楽部の会員数が「概ね50名」とされていましたが、このほどこの基準が「概ね30名」に改定されました。当倶楽部の発足当初は3単位倶楽部でしたが、会員数増加に伴い平成12年11月にこれを4単位倶楽部に編成替えしました。その後10年近くの間多くの会員の入退会を経て、現在単位倶楽部毎の会員数に大きな差が出てきております。第2倶楽部は60名を第4倶楽部は80名を超えており、地域委員数もそれぞれ7名、11名となっていて配布物を届けるために地域責任者に大きな負担がかかっています。このような現状を解消するために、先の合同会議でこの国の制度改定を機会に単位倶楽部の再編成を検討することになりました。単位倶楽部数が増え、市からの補助金が増額されるというメリットもあります。今後具体的な再編成方法について会員の皆様のご意見を参考に役員会等で検討を進めて、来年の総会で決定して頂く予定にしています。

会員投稿欄

- 丹波の黒豆 -

第4倶楽部(ひいらぎ) 足立 郁男

ふる里 “丹波” のことを少々...

実りの秋、丹波は周囲を山や森に囲まれ、栗や少なくなった松茸、山の芋などの特産物が収穫されます。そのなかでも全国的に有名なのが黒豆です。

黒豆を育てるには、昼間暑く夜涼しい丹波の気候が良いと言われています。さらに、丹波盆地に多い霧も一役かっているようです。

六月に植えた豆が九月上旬の黄金色とのコントラストがいかかれない煮豆ですが、丸と呼ばれビ-ルなどのツマミ

その他黒豆を使った食べ物リ-ム、味噌、醤油、いろいろの黒豆は良質のタンパク質、脂肪、ビタミンなど栄養価豊富

あるようです。再認識で食してみても農業も機械化が進み労力は随分と軽減

多くの時間と手間を掛け、昔ながらの農法

で作っています。それでも天候に左右されることが多くなかなか大変です。

自然のままに、自然と共に、だから難しいのかも知れません。

ちなみに黒豆の生産量の多いのは岡山県で、丹波の種が使われています。



になれば、畑を濃い緑色に染め上げ稲刈り前の田んぼ美しいです。十一月末には収穫し、一般には正月料理

月中頃から十月にかけての枝豆は“むらさきずきん”

として喜ばれています。

には、お茶、パン、コ-ヒ-、コロッケ、ソフトク

ロ-ル抑制や整腸作用などの効果が

下さい。されてきましたが、黒豆は今でも

で必要以上に気を使い丹精を込め

お知らせ

~ 8月以降会員になられた皆様 ~ 皆様のご活躍を期待しています

五十嵐康子さん(はなみずき) 俳句同好会 : 濱谷外満子さん(にれのき) 俳句同好会

稲木美智子さん(くすのき) 歩こう会同好会 : 高間 正夫さん(もくれん) ゴルフ同好会

小椋 昭さん(つばき) ゴルフ同好会 : 田尻 登美子さん(ひいらぎ) GG、ゴルフ、ハイキング同好会

~ 8月以降退会された方 ~

山口 和枝さん(ひいらぎ) 喜多 康雄さん(しらかば) 10月18日ご逝去されました。

ご冥福をお祈りいたします。

いろいろな情報を提供できるよう誌面の充実を図っていますが、皆さんの忌憚のないご意見や投稿で更に内容のあるものにしたいと思っています。よろしくお願ひします。

編集委員(八木兵司、岡村英明、足立郁男、安楽つねみ、西澤四郎)